

(1) 実施機関名：

産業技術総合研究所

(2) 研究課題（または観測項目）名：

（和文）活断層データベースの整備と公開

（英文）Update and release of the Active Fault Database of Japan

(3) 関連の深い建議の項目：

6 観測基盤と研究推進体制の整備

(1) 観測研究基盤の開発・整備

エ. 地震・火山現象のデータベースの構築と利活用・公開

(4) その他関連する建議の項目：

1 地震・火山現象の解明のための研究

(1) 史料・考古・地形・地質データ等の収集と解析・統合

ウ. 地形・地質データの収集・集成と文理融合による解釈

(5) 令和5年度までの関連する研究成果（または観測実績）の概要：

産総研の活断層データベースでは、全国に分布する583の活断層（活動セグメント）の代表パラメータと約2万点の調査地情報を収録・公開している。今後、活断層データベースで表示させる活断層図の詳細化を進めるために、活断層線（58セグメント）と調査地（約1100地点）に関するデータの位置精度を向上させる作業を実施した。また、詳細な活断層図を表示させるためのシステム開発や表示方法の検討を行なった。

(6) 本課題の5か年の到達目標：

全国に分布する約600の活断層（活動セグメント）の活断層線と約2万点の調査地情報について、位置精度向上の作業を完了させ、その結果を公開する。また、これらの作業結果及び新たに発表された研究論文や報告書の内容に基づき、それぞれの活動セグメントの代表パラメータの見直しを行う。

(7) 本課題の5か年計画の概要：

令和6年度には、約20断層と約400地点の位置精度を確認・更新する。これまでに位置精度向上の作業が完了したものを、順次、活断層データベース上で公開する。

令和7年度には、約200断層の活断層線と約5000地点の調査地の位置精度を向上させる。また、位置精度向上の作業が完了したものを、順次、活断層データベース上で公開する。

令和8年度には、約200断層と約5000地点の位置精度を確認・更新する。これまでに位置精度向上の作業が完了したものを、順次、活断層データベース上で公開する。

令和9年度には、約100断層の活断層線と約5000地点の調査地の位置精度を向上させる。これまでに位置精度向上の作業が完了したものを、順次、活断層データベース上で公開する。

令和10年度には、活断層データベースに収録されているすべての活断層について、詳細な活断層図を活断層データベース上で公開する。

(8) 実施機関の参加者氏名または部署等名：

吾妻 崇（活断層・火山研究部門）,丸山 正（活断層・火山研究部門）,中井未里（活断層・火山研究

部門)

他機関との共同研究の有無：無

(9) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署名等：産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門

電話：

e-mail：af-db-ml@aist.go.jp

URL：https://gbank.gsj.jp/activefault/

(10) この研究課題（または観測項目）の連絡担当者

氏名：吾妻崇

所属：産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門